【全体的な計画】

ウィズチャイルドさくらがおか幼保園

経営理念	幸せを生み出せる環境づくりに全力で取り組む	保育教育方針	誰もが持っているよりよく生きようとする成長願望を伸ばす援助をする (モンテッソーリ教育)
保育目標	豊かな個性を持ち愛と品位に満ちた社会の一員を育てる	特色ある保育・教育	・モンテッソーリ教育の実践　・自然に親しみ、よく歩く ・和食中心の給食で丈夫な体作り　・豊かな日本語教育と挨拶の重視

主な年間保護者参加行事
保護者会 保育参加 祖父母参観 親子のつどい(春・秋) 卒園式 有志参加イベント(教材作りボランティア・クリスマス準備会など)

各年齢毎の保育目標			
乳児	安定と信頼を基本に、秩序のある環境の心地よさを知る。	3歳児	異年齢児との生活の中で様々な学びを得て、のびのびと自分を表現できる。
1歳児	日常生活の動きの繰り返しの中から安心と意欲の芽生えが育つ。	4歳児	異年齢児と生活する中で思いやりと尊敬の念が育ち、知的興味が拡大する。
2歳児	遊びや活動を通して興味や関心及び人との関わりを広げていく。	5歳児	仲間と得られた達成感が自信につながり周囲との関わりから自律の心が育つ。

長時間保育配慮

・延長保育は日中の保育の連続性を考え遊びを設定する。
・少人数ならではの環境設定に配慮する。
・夕食、補食の提供、特に口頭での伝達を重視し安心に繋げる。
・家庭的な遊びを大切にする。
照明は全部屋目に優しい電灯を設置。

保育の内容

		乳児			1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持	ひとりひとりの生活リズムを尊重する。	養護	生命の保持	保育士との信頼関係を構築する。	食事・排泄・睡眠が意欲的に出来るよう環境構成に気を配る。	食事・排泄・睡眠の自立のほか、鼻をかむ、手を洗う等の衛生面に配慮した行動を促す。	暑さ、寒さなどに気付き、体の異常を訴えることの重要性を知らせる。	健康維持又は感染予防などの対策に積極的に関われるよう指導する。
	情緒の安定	母子共生の重要性を配慮する。 個々の生理的欲求を満たす。		情緒の安定	保育士とのスキンシップを通して安心感を育てる。 行動の表現から気持ちを汲み取る。	自分でやりたいという意欲を受容しながら自立の援助をする	自己選択活動を通して自分の気持ちを自由に表現できるよう環境を整える。	多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼感を持てるようにする。	友達関係や年長児としての心の揺れ動きに配慮し、穏やかに生活できるよう心がける。
健やかに伸び伸びと育つ		清潔な環境を好む。 はいはいや伝い歩き等の運動を喜んでする。	教育	健康	歩行の確立に向け身体を存分に動かすことを好む。	戸外でのびのび体を動かす喜びを味わう反面、細やかな身体の動きにも興味を示す。 身支度を自分でしようとする。	身の回りを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする。	集団としての運動や、ゲーム性のある遊びに興味を示す。	自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。
				人間関係	友達や保育士の名前に興味をもち、友達の保護者とも交流する。	物の取り合いなどのけんかを通して友達との関わり方を経験する。 挨拶をする	友達と一緒に遊び、その中で順番等のルールを知り守ろうとする。 挨拶ができる。	年下の子どもへの優しさや年上の友達との協力により自分の存在価値を確認する。	競争意識が芽生える一方で助けたり応援できたりする事で人間関係を作る。
身近な人と気持ちが通じ合う		特定の保育士との関わりにより信頼関係がうまれる。		環境	好きな教具や遊具に興味を持って関わり様々な遊びを楽しむ。	自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。	身近な動植物に親しみを持ち世話をすることで生命の尊さに気づく。	身近な環境に自分から関わり意欲的に活動する。	自然などの身近な事象に関心を持ち遊びや生活に取り入れようとする。
				言葉	保育士の言葉を真似たり、片言で気持ちを表現できる。絵本の読みきかせを楽しむ。返事が出来ることを喜ぶ。	挨拶や返事等コミュニケーションの基礎になる言語活動を楽しむ。 絵本を読んでもらうことを繰り返し楽しむ。	友達に意思を伝えたり友達の話を聞いたり会話が成り立つ。素話を聞いたり読みきかせを楽しむ。	簡単な文字を書いたり読んだりすることに興味を持つ。素話に聞き入る。	文字で表現することで様々な文化活動が広がる喜びを知る。長い素話を聞く事ができる。　俳句や詩を楽しむ
身近なものと関わり感性が育つ		身の回りに対する興味・関心が芽生える。		表現	保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムに合わせて体を動かして遊ぶ。	ピアノに合わせて歌ったり、リズムに合わせて表現したり粘土や紙で自由に制作することを楽しむ。	いろいろな素材で形を表現したり、音楽に合わせて歌ったりすることを楽しむ。	いろいろな素材で自由に絵を描いたり、素材で物を作ったりリトミックを楽しむ。	手を使って出来る様々なものづくりに挑戦する。歌や楽器の演奏等を楽しむ。
食　育		個別にゆったり食べる事を通して食に対する意欲が芽生える。	食　育		手づかみやスプーンを使って自分で食べることを喜ぶ。	友達と食べる事を通して食事の楽しさを知る。	献立の中にある食材に興味を持って食べる。	食事が体を作るためにどれだけ大切かを知る	畑の収穫物の育ちや料理活動を通して食育に関する興味が育つ。

保護者支援

・日々家庭との連携を重視する。
・発達相談、保護者面談
・保育所の利用相談
・病児・病後児保育紹介
・市の各種子育て関連機関との連携サポート、健診時の連携

地域との交流

・毎日の散歩先での地域の方々との交流
・地域ネットワーク会議に参加し地域の情報共有を図る
・グループ施設の子育てカフェを会場とした各種イベント
・農園に訪問し収穫体験
・市の施設を利用した交通安全教室参加

小学校との連携

・近隣小学校と協力して学校見学
・保育要録送付
・電話や対面での個別申し送り
・保幼小職員合同研修への参加

衛生管理	定期害虫駆除・水質検査・毎月職員検便・年1回健康診断・インフルエンザ予防接種(職員)・衛生推進者を置く。・マニュアルに基づく感染症対策	健康支援	常時看護師による相談・身体測定・健康診断・歯科検診 小児科・産婦人科オンラインによる無料相談・登園許可
安全対策	毎月避難訓練・地震想定訓練・水防訓練・交通安全教室・電話、メールによる緊急連絡訓練・散歩時緊急連絡・救命救急訓練	事故防止	ヒヤリハット・事故記録簿の確認・睡眠チェック・AED、怪我対応、不審者への訓練

社会的責任	人権尊重	説明責任	個人情報保護	苦情解決
認証保育所は事業の公共性の高さに鑑み児童福祉施設としての倫理観に基づいて保育サービスを提供する責任がある。	児童福祉法・児童憲章などを元にこどもの人権を尊重する。利用者、職員に人権、信条等により差別的扱いをしたり信条等を強制したりしてはならない。	近隣関係・保護者のみならず入所の案内の折にもパンフレット等を利用し保育所の役割と内容は詳しく説明する義務がある。	保育所で得た個人情報は個人情報保護法により外に漏らしてはならない。 虐待防止については発見したら通告義務がある。	施設長の指示の元、解決した事を書面にし学びにつなげる。 多摩市オンブズマン制度へ加入。

研修計画

・職員個別研修
・自園研修発表
・モンテッソーリ教師資格取得
・保育士資格取得支援
・キャリアアップ研修
・防火防災管理者、救急救命講習
・発達支援研修